

# 地域ケア会議 NEWS☆LETTER

発行：小諸市地域ケア推進会議事務局（小諸市高齢福祉課・小諸市地域包括支援センター）

## 第2回地域ケア推進会議を開催しました！！

9月25日小諸市役所にて、今年度第2回目の地域ケア推進会議を開催しました。

今回は『認知症初期集中支援チームについて』『生活支援体制整備事業について』『認知症介護者家族への支援策について』を議題に、各議題とも、委員の皆さんから多くの意見をいただきました。

今回のニュースレターでは、今年で活動3年目となる『認知症初期集中支援チーム』と、今月より新たに開始となった『生活支援体制整備事業』について詳しくお伝えしていきます！！



## 【認知症初期集中支援チーム】

### ～本人・ご家族の不安・困り事に丁寧に対応します～

#### ■支援対象者は？

☞以下のような方達が対象となります。

#### ①認知症の初期の方

日常生活に大きな支障が出ない段階から、受診の必要性の見極め、受診（かかりつけ医への相談）やご家族の対応についてサポートします。

②何が問題なのか、ご本人ご家族をとりまく全体状況はどうなのか、もう少し状況を見極めたい方に対して、地域包括支援センターが総合的なマネジメント、今後の方針を立てて行くために期間を定め集中的に情報収集します。

#### ③拒否があり、人が入りづらい方

一定期間頻度多く訪問することで外から人が入りやすくし、支援者との関係性がスムーズに作れるよう支援します。

高齢福祉課と地域包括支援センターで、支援チームの介入要否について検討し、対象者を決定しています。



#### ■チーム員はどんな人で、どんな支援をする？

☞小諸市認知症初期集中支援チームは

- ・認知症サポート医：小諸高原病院 城甲医師
- ・高齢福祉課：保健師 1名  
看護師 2名  
主任ケアマネジャー 1名  
社会福祉士 1名

で構成され、市高齢福祉課に設置されています。

☞『認知症になっても本人の意思が尊重され、出来る限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられる』ために、認知症の人やその家族に早期に関わり支援体制を構築することを目的に、受診支援・日常生活、介護に関わる支援・地域との関わりに関する支援・家族支援を行います。



定期的にチーム員会議を開催し、支援の方向性決定や支援内容の見直し、支援終了の判断などを行っています。

# 【生活支援体制整備事業】がスタート！！

## ～生活支援コーディネーターさんに聞きました！！～



最近の好きな言葉は” いい加減” です。張り切りすぎず、やらずすぎず…難しいところではありますが、” ちょうどよい” ところを見つけることも大事なのだと感じています。

これから小諸市でいろいろ活躍されたり、活動している皆さまとの出会いを楽しみにします！

よろしくお願いします。



第2層（小諸東中学校区）担当の金箱です。

最近の趣味はウクレレです♪ウクレレはハワイ語で『飛び跳ねるノミ』という意味なんですよ！！

寒くなるとラーメンが美味しくなりますね。美味しいお店をぜひ教えて下さい！！

【左】第1層・2層（芦原中学校区）生活支援コーディネーター：小諸市社会福祉協議会 鷹野聡史さん

【右】第2層（小諸東中学校区）生活支援コーディネーター：小諸市社会福祉協議会 金箱翼さん

### ■『生活支援体制整備事業』って何ですか？

☞『私がわたしらしく豊かで安心して暮らせる小諸市』をつくるための手段（ツール）の1つです！！

『生活支援体制整備事業』により、住民が参画し、小諸市全体のことを行政・医療・福祉・介護・企業・教育などの様々な分野の関係者とともに総力戦で取り組むために地域課題の原因を探り、対応策を考える『場』を持つことができます。

### ■『協議体』の役割は何ですか？

☞協議体は、住民を含む多様な関係主体の皆さんがメンバーとなり、様々な地域の課題を住民目線で捉え、小諸市に暮らす高齢者の暮らしを支えるための『地域づくり』をどのように進めていくかについて話し合います。また、地域資源の情報把握や資源の開発、サービス提供者間の連携・情報共有のためのネットワーク構築などを通し総力戦で地域づくりを進めます。

小諸市では市全域対象の第1層協議体と中学校区対象の第2層協議体（芦原中学校区・小諸東中学校区）の3つの協議体を設置します。

### ■生活支援コーディネーターは何をする人ですか？

- ☞①地域の皆さんと見つけます！創ります！  
地域に既にある支え合いの活動や資源を把握のうえ、不足するサービスを創出したり、高齢者の皆さんがイキキと活躍できる場の確保を行います。
- ☞②地域の皆さんの繋がりを広げます！  
地域の皆さん、様々な分野の関係者で情報共有を行い連携体制が取れるよう活動します！
- ☞③地域の“困った”を“支え合いの制度・仕組み”に繋がります！

### ■『協議体』と『地域ケア会議』との関係性は？

☞小諸市では『第1層協議体』を『地域ケア推進会議』が兼ねる形で開催していきます。

『第2層協議体』については、各地域の特性に合わせ、コーディネーターが話し合いに加わっていただくメンバーを調整し開催していきます。



【編集後記】今回は、第2回推進会議で取り上げた『認知症初期集中支援チーム』『生活支援体制整備事業』についてお伝えしました。どちらも『私がわたしらしく豊かで安心して暮らせる小諸市』づくりに欠かせない取組みだと再認識しました。引き続き、地域課題解決に向け実際に取り組んでいる皆さんの様子を『取材に来て！！』というお声掛けをお待ちしています！朝、布団からなかなか抜け出せなかったり、通勤途中で鶯の葉が紅葉していく様子を見ながら日々秋の深まりを感じています。皆さんが秋を感じる瞬間はどんな時ですか？

